

Akitakata

人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」

NO.157

9

2016.Sep

発行編集

安芸高田市

政策企画課

〒731-0592

広島県安芸高田市世田町吉田791

Tel. (0826) 42-5627

Fax. (0826) 42-4376

http://www.akitakata.jp/



全国各地の神樂が集結
特集 高校生の神樂甲子園

安芸高田歴史紀行

碓崎城

《高原則保垣》

シリーズ「お城拝見！」第七十回

安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 秋本哲治

【登城ガイド】
標高/240m 比高/30m
史跡指定/未指定
築城者/不明
所要時間/北側の車道から5分

過去に調査された城跡でも、実際に現地に行くと新たな発見があるものです。今回は全く見方が変わるほど驚きの連続でした。「百聞は一見に如かず」ですね。

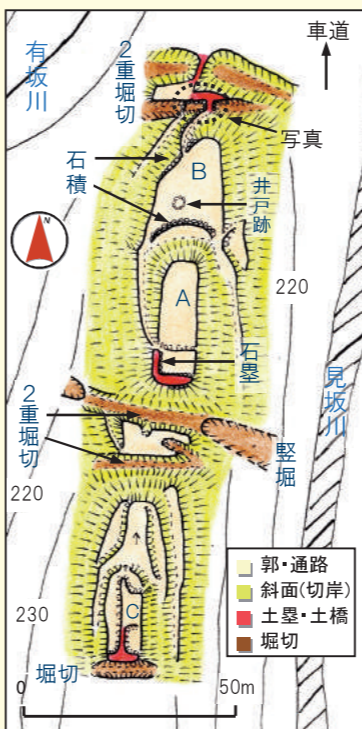


碓崎城遠望(西側より撮影)

周辺位置図



通路から土橋に残る石積(北側より撮影)



碓崎城略測図(作図 秋本哲治)

立地：向原町の南、保垣と有留の分岐点に突き出した細く長い丘陵上にあります。坂・長田方面から進むと狭い谷が開ける地点であり、交通の要所といえます。また、高さは30m程度ですが、城の東西に川が流れ、天然の堀となつています。

歴史：江戸時代の地誌類では、城名はあるものの城主は不明となっています。しかし保垣は、少なくとも毛利元就の父弘元の時代から防長移封まで毛利氏に仕えた羽仁氏(保垣氏とも)の領地であったため、羽仁氏の城であった可能性があります。

城跡：全長南北約150m、東西30mの城域で、北側を向いています。頂部にL字型の石壁を備えた郭Aとその北側一段下の郭Bが中心ですが、その南に更に高い郭Cを今回の調査で確認しました。そして城の正面入口には2重堀切、Aの南側背後にも2重堀切、さらにCの南側にも堀切と、計5本の堀切を備えています。特にAの南の堀切は非常に鋭い崖のような斜面で圧巻です。また、Bやその北側の土橋にかけて、粒は小さいながらも石積が非常によく残ります。

考察：大規模な城ではありませんが、狭い尾根上を堀切で区画し、頂部に土壁を設け、さらに石積を構築する手法が五龍城とよく似ています。また土橋での石積の使用は市内では他に例がなく、16世紀後半まで使用されていた可能性もあります。防御にも居住にも対応可能な城と思われる、今後再評価されるべきでしょう。

今月の表紙

7月23日(土) 24日(日) 開催された「第6回高校生の神樂甲子園 ひろしま安芸高田」で演目を披露した出場校です。運営参加校として西城紫水高等学校も参加し、計16校の高校が集結しました。

- ① 吉田高等学校
- ② 日野高等学校(鳥取)
- ③ 広島新庄高等学校
- ④ 千代田高等学校
- ⑤ 江津高等学校(島根)
- ⑥ 加計高等学校芸芸北分校
- ⑦ 矢上高等学校(島根)
- ⑧ 葛巻高等学校(岩手)
- ⑨ 伊保内高等学校(岩手)
- ⑩ 高千穂高等学校(宮崎)
- ⑪ 浜田商業高等学校(島根)
- ⑫ 橋原高等学校(高知)
- ⑬ 遠江総合高等学校(静岡)
- ⑭ 可部高等学校
- ⑮ 浜田養護学校(島根)

